

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成27年度】

2 地域子育て支援拠点事業

事業概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業
事業目的 (目指すべき目標)	地域子育て拠点施設や子育て支援ボランティアなどと連携を図りながら、子育て家庭が孤立しないよう地域で支える取組を進める。また、利用者のニーズの把握に努め、情報化社会の中での周知方法を検討しながら情報発信を行い、積極的な参加を呼びかける。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	市内3つの地域子育て支援センターやわくわく広場の開放事業のほか、町内会館など地域に出向いて子育て支援事業等を実施し、親子の交流や保護者同士の情報交換、仲間づくりの場を提供する。様々な形態の情報提供をすべく、広報おたるや子育て支援ニュースのほか、市ホームページや市フェイスブックを活用し最新の情報を提供する。

事業費(円)		平成27年度 予算	平成27年度 決算	平成28年度 予算	平成29年度 予算	平成30年度 予算	平成31年度 予算
	事業費	11,304,000	10,158,403	11,267,000			
特定 財 源	国庫支出金	8,193,000	9,871,000	8,677,000			
	道支出金	9,193,000	9,871,000	8,677,000			
	その他						
	一般財源	△ 6,082,000	△ 9,583,597	△ 6,087,000			

※国庫補助金及び道補助金は、地域子育て支援センターの正規職員の給与・手当等の経費も含むため、一般財源にマイナスが生じているもの。

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	開放事業実施回数	回	564	564	564	564	564
	出向き事業実施回数	回	106	106	106	106	106
	その他事業実施回数	回	114	114	114	114	114
	【特記事項】 出向き事業:「げんきがまちにやってくる!」など支援センター以外の場所で実施する事業 その他事業:子育て講座や育児教室など定員制で事前申込の事業						

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	開放事業参加組数	組	6,122	6,012	5,904	5,797	5,693
	出向き事業参加組数	組	1,035	1,016	998	980	962
	その他事業参加組数	組	667	655	643	632	620
	【特記事項】 出向き事業:「げんきがまちにやってくる!」など支援センター以外の場所で実施する事業 その他事業:子育て講座や育児教室など定員制で事前申込の事業						

(A)(B)を考慮した需要量 (指標)の設定及び確保 方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	月:延べ利用人数 (※保護者)				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	★事業計画策定済み★					
	需要量の見込み(カッコ内は年)(人)	480(5,760)	470(5,640)	460(5,520)	450(5,400)	440(5,280)
	確保方策(同上)(人)	500(6,000)	500(6,000)	500(6,000)	500(6,000)	500(6,000)

【事業評価】						
A:事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B:事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。 C:事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。						
事業実施者による事業評価		A				
小樽市子ども・子育て会議における事業評価		A				
<確保方策> 事業計画から抜粋	本市においては、「市立保育所の規模・配置に関する計画」(平成22年12月策定)で、総合的な子育て支援の核としての役割を担う拠点施設として、銭函保育所(支援センター:あそぼ)、奥沢保育所(支援センター:げんき)、赤岩保育所(支援センター:風の子)の3か所の施設が、位置付けられています。今後も、市の関係機関のほか、「わくわく広場」など子育て支援にかかわる市内事業者やボランティア活動していただいている市民の皆さんなどと連携を図りつつ、地域から子育て家庭を支える取組を進めていきます。また、利用者のニーズの把握に努め、情報化社会の中での周知方法や、子育てに資するサービス事業の在り方を検討しながら、取り組みます。					

◆平成27年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)

平成25年度に開設した地域子育て支援センター「あそぼ」は、銭函保育所の建替えに伴い仮設園舎で事業を実施してきたが、平成27年4月に新園舎が完成し、地域子育て支援センター「あそぼ」も新園舎で事業を開始した。従来実施してきたセンター開放の時間及び曜日を拡大したほか、子育て講座の開催数も増やした。また、奥沢保育所に併設されている地域子育て支援センター「げんき」も、センター開放日や保育所交流事業を増やし、赤岩保育所内の地域子育て支援センター「風の子」についても、出向き事業の開催回数を増やしたほか、乳児と保護者向けの育児教室を新規事業として実施した。つどいの広場事業の「わくわく広場」は、開放事業や育児相談などの事業を継続して実施した。就学前の子どもと保護者の交流の場を提供するとともに、保護者の育児への不安解消や負担の緩和につながる事業を実施できた。情報発信を引き続き行うほか、利用者のニーズの把握に努めていく。

◆平成28年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)

平成27年度の事業を引き続き実施し、親子の交流や情報交換の場をしていく。また、情報取得ツールの多様化に対応した発信方法を検討しながら、市ホームページや広報おたる、子育て支援ニュース、ポスター等で各事業を周知するほか、実施した内容についても市フェイスブックを活用して発信していく。利用者のニーズの把握に努める。